

車社会みんなの住みよい街づくり

ゆー

うまんちゅめ

那覇第2地方合同庁舎
900m Second Naha Government Office Building

くるま世

う万人め

美ら街じゅくい

那覇都市圏での 渋滞に対するとりくみ



那覇都市圏とは



渋滞に対するとりくみとは

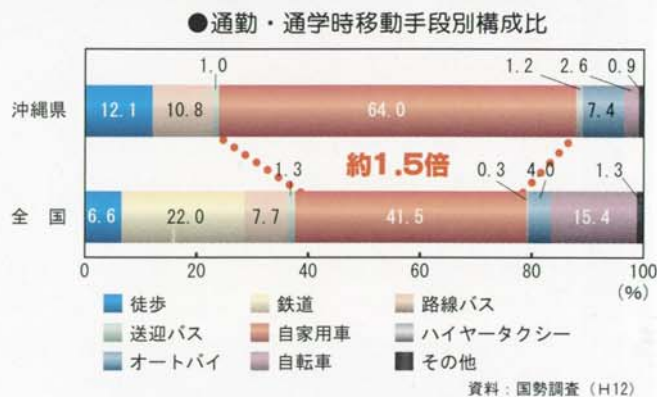
沖縄県ではゆいレールが整備されていますが、陸上交通のほとんどは自動車交通に依存しています。また、昭和63年から継続的に渋滞対策が進められており、部分的に渋滞の解消及び緩和がみられるものの、さらなる都市・市街化の進展や自動車保有台数の増加、生活様式の多様化などにより、交通渋滞は全体として持続しており、抜本的な渋滞解消には至っていない状況にあります。

都市圏交通円滑化総合計画は、那覇市、浦添市、宜野湾市、南風原町、西原町、豊見城市の那覇都市圏（6市町）を対象圏域として、那覇都市圏の安全かつ円滑な交通を確保するため、「道路整備」、「交通経路の分散」、「交通利用時間の分散」、「交通手段の分散」により通勤・通学時間帯の交通渋滞を緩和するとともに、交通の快適性・利便性の向上、交通に起因する環境負荷の軽減等を図ることで、那覇都市圏の豊かで暮らしよい地域の実現に資することを目的とします。

1

自家用車への依存率が高い

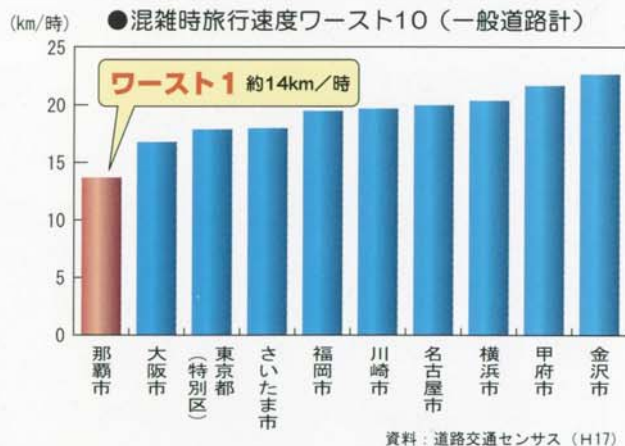
沖縄県では、通勤・通学における自動車への依存度が非常に高く、全国の自家用車利用割合の約1.5倍となっており、約6割を占めています。



2

渋滞時による走行速度の低下

那覇市内では車の流れが悪い環境にあり、朝夕のピーク時の走行速度は大阪市、東京都（特別区）よりも遅く、全国でワースト1（約14km/時）となっています。

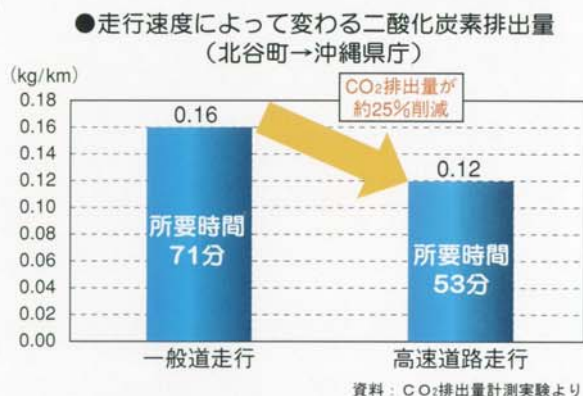


3

渋滞にともなう二酸化炭素排出量の増加

北谷町から県庁まで、一般道（国道58号等）のみを利用した場合、高速道路（沖縄自動車道 那覇IC～沖縄南IC）を利用した場合を比較すると、走行時間は71分から53分（約25%）短縮されました。

また、燃費は約39%向上し、二酸化炭素排出量は約25%削減できました。

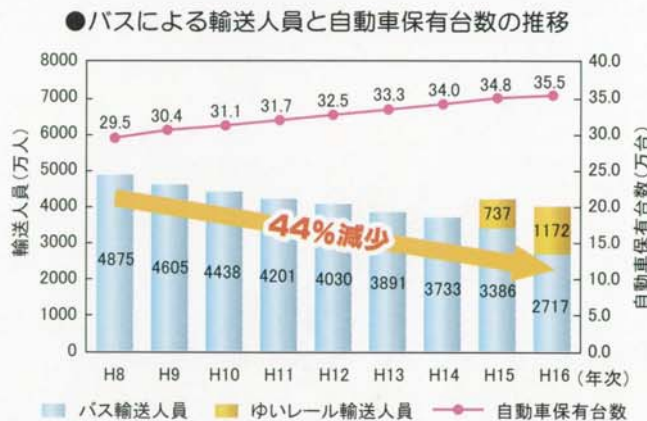


4

バス利用者の減少

自動車保有台数が増加している中で、沖縄県の路線バス利用者数は、平成8年～平成16年にかけて約44%減少しており、現在約2,700万人/年となっています。

平成15年8月にゆいレールが開業し、平成16年には、公共交通機関全体として利用減少に歯止めがかけられました。

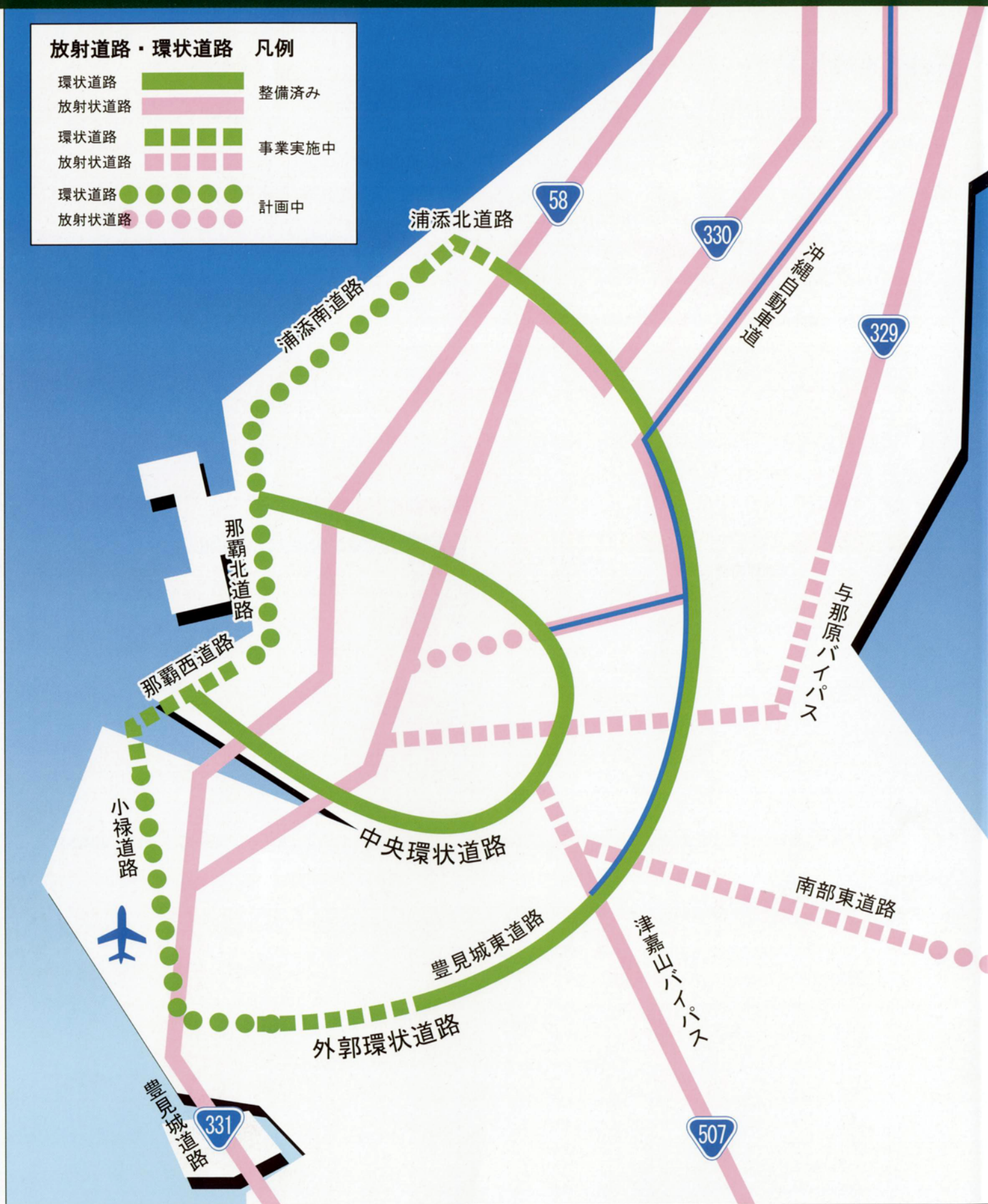


5

通勤・通学時間帯への交通量集中

右図にある那覇北側断面図を見て分かるように、通勤・通学時や帰宅時には交通量が集中し、各断面の道路はパンクしている状態です。

2環状7放射道路の整備



2環状7放射道路の整備は、那覇市街地に向け最短時間の経路を選択することができます。

また、渋滞する時間帯には、北側从那覇市街地に向かうところを東側から向かうといった移動経路の変更（交通の分散を図る）が可能となります。

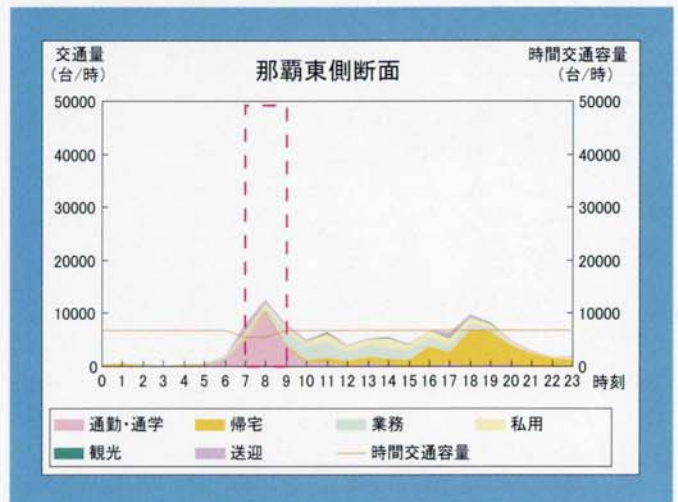
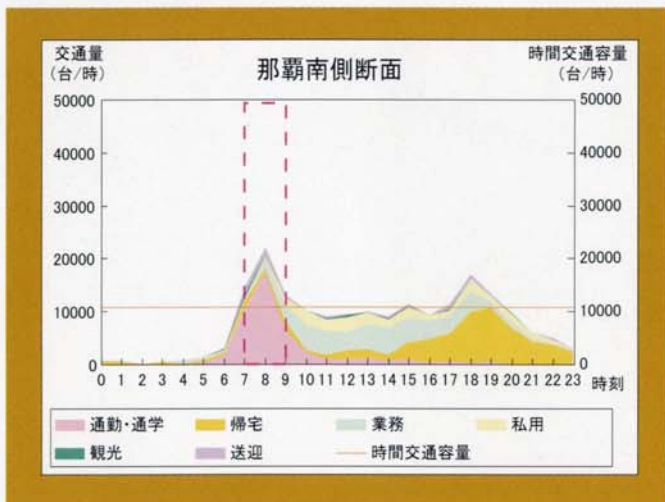
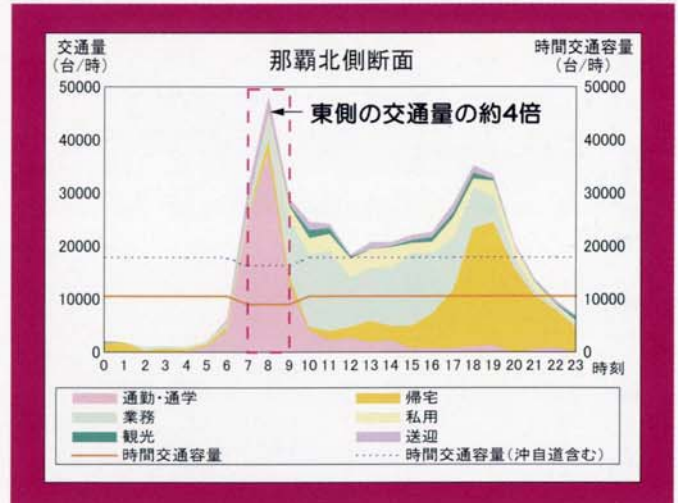
さらに、那覇市街地に用いない通過交通を排除することにより、那覇市街地内の渋滞を緩和することもできます。

渋滞に対する3つの分散

交通経路の分散

交通経路の分散とは、渋滞している道路を避けて、比較的空いている道路へ経路を変える交通施策です。

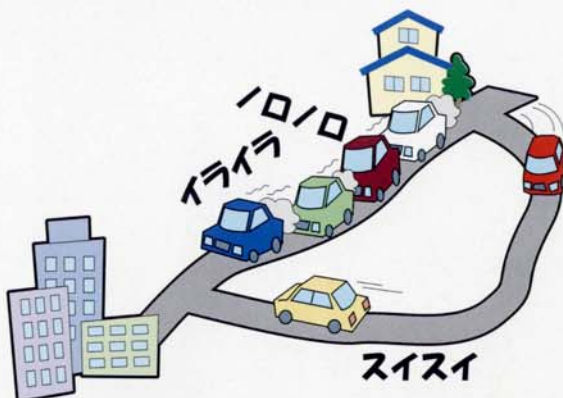
■ 通勤・通学時間帯に車がより多く集中する那覇北側断面



※時間交通容量とは：1時間で車を通すことのできる道路の通過台数の限界値

2環状7放射道路が交通経路の分散を可能にします！

交通経路を変えるためには、市街地に流入する交通量が比較的少ない東部、南部から那覇市街地に向かうための環状道路が有効です。



■ 経路変更事例（北谷町→沖縄県庁）



交通手段の分散

交通手段の分散とは、渋滞に巻き込まれる自動車交通から、バスやモノレールなどの公共交通機関へ移動手段を変える交通施策です。

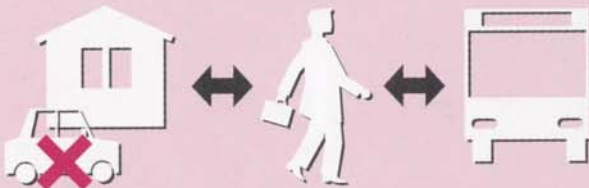
車のみでの移動

大きな渋滞を引き起こしています。



バス路線沿線

●車をやめてバスへ転換



●自動車を停留所近くの駐車場に停めバスへ乗り換え
(パーク・アンド・バスライド)



モノレール沿線

●車をやめてモノレールへ転換

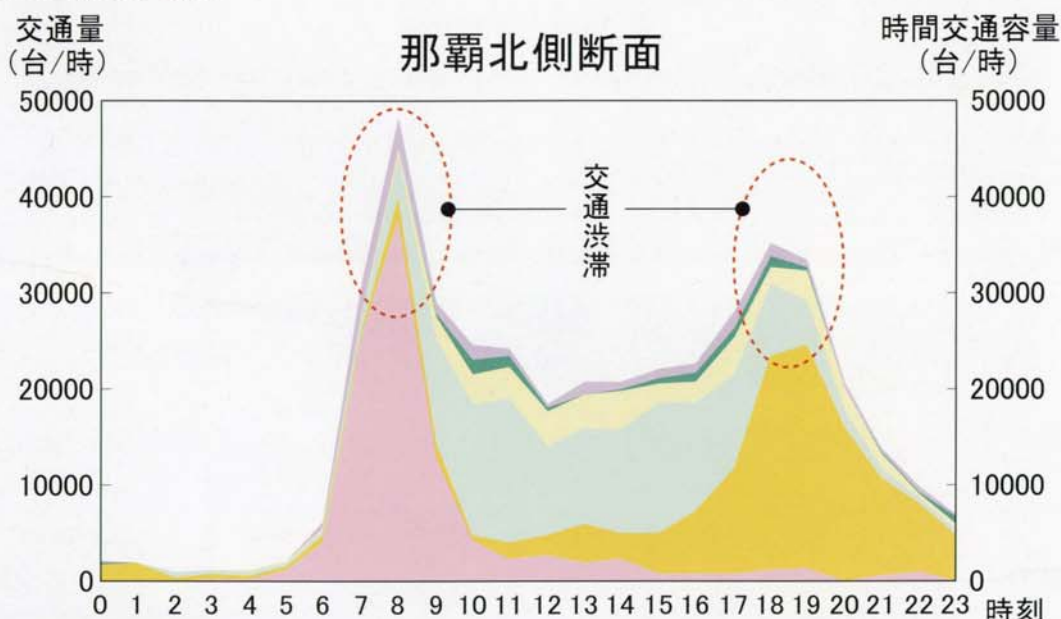


●自動車を駅近くの駐車場に停めモノレールへ乗り換え
(パーク・アンド・モノレールライド)



交通利用時間の分散

交通利用時間の分散とは、道路が渋滞している時間帯を避けて、その前後に移動時間帯を変える交通施策です。



ピーク時から
前後の時間帯に
振り替える

ピーク時から
前後の時間帯に
振り替える

朝早く出勤して
早く仕事を片付けて
早く帰ろうと！



■事例 エコ交通について (秋田県)

「エコ交通の日」は公共交通機関の活性化を、「時差出勤」は秋田市内の渋滞緩和等をそれぞれ目的としています。いずれの取組も、地球温暖化の原因のひとつである二酸化炭素の排出量の削減にも寄与できるものです。走行時間短縮による便益額は年間約2億7千万円と見込まれ、大きな経済効果が期待できると考えています。

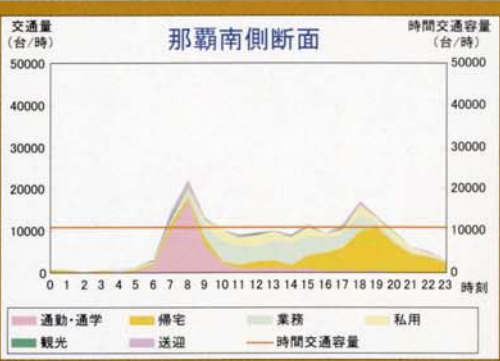
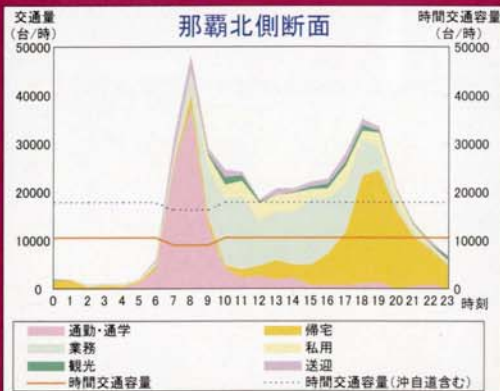
(秋田県公式ホームページ H19.3)

前後の時間帯に振り替えられ
減少する交通量

ピーク時から前後の時間帯に
振り替えられた交通量

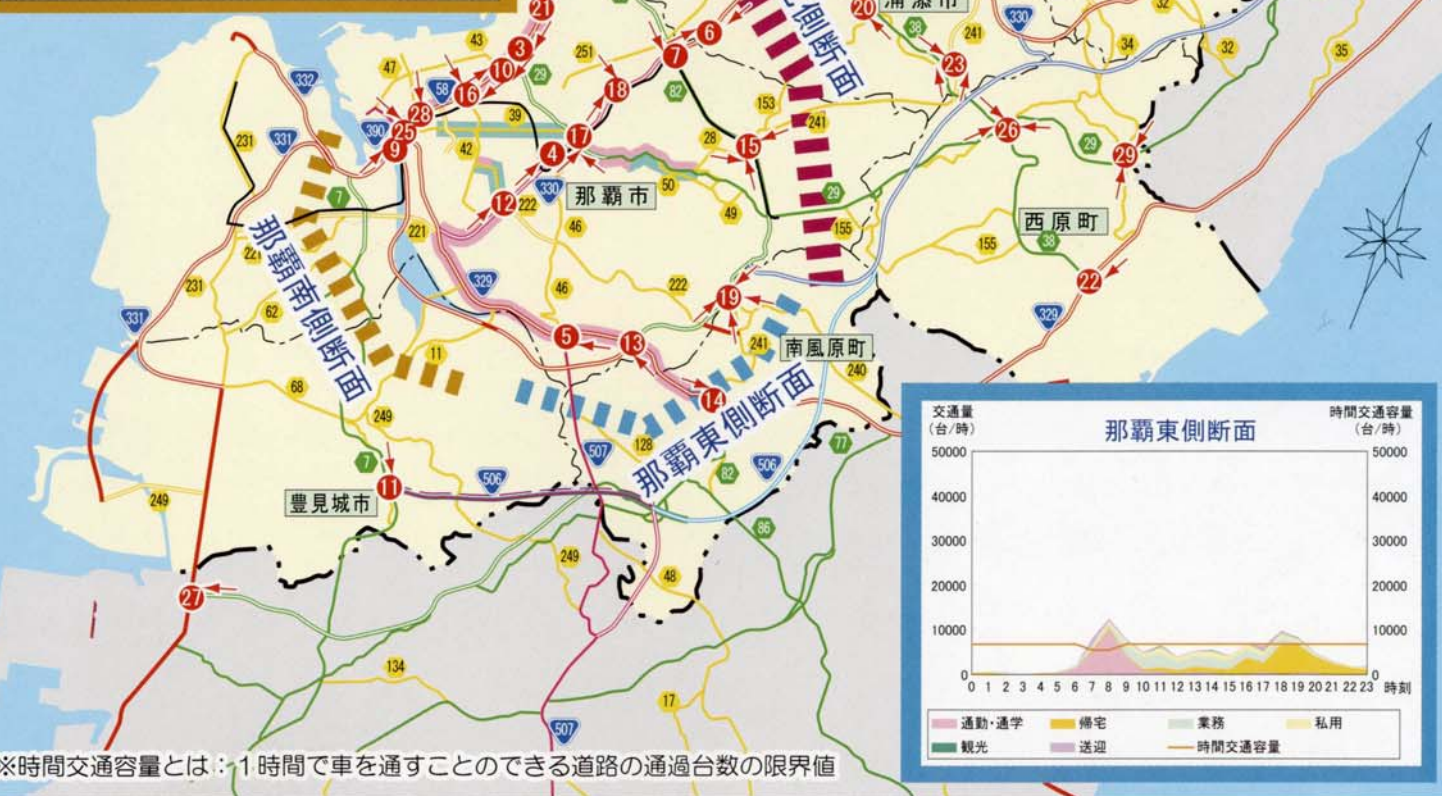
全国各地で
「時差出勤」等の施策に
とりにくんでいます！

渋滞ポイントの位置図



- ① ← 渋滞交差点と渋滞方向
- バス専用レーン
- バス専用道路
- 時間別交通量算出のための断面

凡	例
	一般国道 (直轄管理区間)
	一般国道 (直轄管理区間外)
	主要地方道
	一般県道
	国土開発幹線自動車道等
	有料道路 (南風原自動車道)
	那覇空港自動車道
	モノレール



■ 渋滞交差点＜交差点名・最大渋滞長・最大通過時間＞

① 城間	4,400m 24分	② 大平	3,700m 22分	③ 泊	2,750m 16分	④ 栄町	900m 10分
⑤ 国場	2,100m 18分	⑥ 沢岬	2,000m 7分	⑦ 古島	1,750m 18分	⑧ 港川	1,600m 10分
⑨ 明治橋	1,400m 8分	⑩ 泊ふ頭入口	1,400m 18分	⑪ 中央公民館入口	1,300m 11分	⑫ 与儀	1,300m 26分
⑬ 上間	1,000m 14分	⑭ 兼城	950m 10分	⑮ 儀保	950m 13分	⑯ 久茂地	850m 15分
⑰ 安里	850m 11分	⑱ おもろまち	800m 18分	⑲ 新川	500m 9分	⑳ 安波茶	800m 13分
㉑ 上之屋	750m 11分	㉒ 小那覇	750m 16分	㉓ 西原入口	750m 11分	㉔ 安謝	700m 13分
㉕ 旭橋	600m 26分	㉖ 坂田	550m 5分	㉗ 座安	100m 4分	㉘ 泉崎	300m 19分
㉙ 上原	300m 6分	㉚ 真栄原	650m 14分				

沖縄地方渋滞対策推進協議会

沖縄総合事務局

沖縄県

沖縄県警察本部

那覇市

浦添市

宜野湾市

豊見城市

南風原町

西原町

西日本高速道路(株) 九州支社沖縄管理事務所

那覇都市圏交通円滑化総合計画についてのお問合せ先

■内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課

〒900-8530 沖縄県那覇市前島2-21-7

TEL : 098-866-0091 (代) FAX : 098-864-1804

■内閣府 沖縄総合事務局 南部国道事務所

〒900-0001 沖縄県那覇市港町2-8-14

TEL : 098-861-2336 (代) FAX : 098-861-2454